

## 世界史

I 次の文章はある書物の冒頭である。これを読んで、設問に答えなさい。解答は解答用紙Bに記入すること。

キリスト教紀元第二世紀、ローマの支配圏は地上のきわめて宏大な領域を覆い、人類のなかでもっとも開けた人々を擁していた。<sup>①</sup>かの単独支配は延々と広がり、その辺境は古代に名の轟く、<sup>②</sup>軍紀厳正な武勇が守っていた。<sup>③</sup>法律と作法は悠々と、しかし強力に影響力を及ぼし、支配圏内の各地域を徐々にしっかりとまとめ上げてきていた。住民は戦にわずらわされることもなく、豊かな富のもたらす果実をほしいままにしていた。何者にも屈しない、独立した国というイメージはうやうやしく奉られ、守られていた。なにしろローマ( 4 )が統治に関する至上の権威を保持している形であり、皇帝に対して行政に必要なあらゆる権能を委ねるのも( 4 )であった。80年以上つづいた幸せな時代(紀元後98～180年)、国家の運営はネルヴァ、( 5 )、( 6 )、両アントニヌスの徳と能力のもとに行われていた。本章、それに続く二つの章では、まず彼らの支配圏の繁栄の様子を描き出し、それからマルクス＝アントニヌスの逝去<sup>⑦</sup>以後の状況を綴り、支配圏の衰退と滅亡<sup>⑧</sup>をもたらした事情のうち、もっとも重要なものをすくいってみるつもりである。この衰退、滅亡は一大革命であり、未来永劫、人類の記憶から消えることはあるまいし、今日もなお、地上の諸民族の肌身に迫り続けてやまないものでもある。

問1 下線部①に関して、当時この支配圏を統治していた政体の名称を書きなさい。

問2 下線部②に関して、単独支配を嫌う人々によって殺害された独裁官の名前を書きなさい。

問 3 下線部③に関して、今日のフランス、ベルギー、ドイツにも支配圏は広がっていた。その支配圏と外部の間の境界線となっていた河川の名称を書きなさい。

問 4 空欄 4 に入る組織名を書きなさい。

問 5 空欄 5 に入る人名を書きなさい。

問 6 空欄 6 に入る人名を書きなさい。

問 7 下線部⑦に関して、「彼ら」の善政を称えて、「彼ら」のことを何と呼んでいるか。その呼称を書きなさい。

問 8 下線部⑧に関して、マルクス = アウレリウス = アントニヌスと呼ばれるこの人物が書き残した書物の題名を書きなさい。

問 9 下線部⑧の逝去以後、支配圏は混乱の時代に入る。この混乱の時代に支配者が相次いで現れ、消えていった。この支配者たちを総称して何と呼ぶか。その呼称を書きなさい。

問10 問題に引用したのはギボン『ローマ帝国衰亡史』(1776～1789)の冒頭である。この著者はフランスのヴォルテールらと深く結びついた思想潮流の影響を受けていた。この思想を何と呼ぶか。その名称を書きなさい。

## II 次の文章を読んで、設問に答えなさい。解答は解答用紙Aにマークすること。

「青をめぐる歴史はまことに厄介な難題である。古代の人々は重視しておらず、ローマ人には不快で無価値な色であり、蛮族<sup>①</sup>の使う色であった。それが今日では全ヨーロッパで圧倒的に好まれる色である。緑や赤などは比べものにならない。数世紀にわたって価値観が大きく変わったことになる」。ミシェル＝パストゥロはその著書『青：ある色彩の歴史』の中でこう述べている。パストゥロはもっぱらヨーロッパを舞台に、衣料を中心に据えて議論を展開しているけれども、たしかに残っている史料を見る限り、古代の人々と「青」を結ぶ線はか細い。古代ギリシア語では「青」を表現することばが乏しいように見受けられる。化学で用いるシアンやアントシアニンの語源となったキユアノス<sup>②</sup>ということばは、青みがかった物質、染料を意味するけれども、それで青空や青い海を形容することはなかった。その代わりに「青銅<sup>③</sup>のように輝く空」「葡萄酒色の海」という表現が用いられるのを見るとき、現代の我々は戸惑うばかりである。しかし「宮殿」と呼ばれる建築物や線文字Aの使用で知られる(4)文明の遺跡では、青を用いた壁画が出土しているし、バルテノン神殿<sup>⑤</sup>を飾る彫刻群の一部に、青の着彩が施されていた痕跡も見つかっている。痕跡を発見した大英博物館によるとエジプシャンブルー(エジプト青)と呼ばれる合成顔料を用いていたようである。蛮族の習俗と結びつけて青を嫌ったとされるローマ人の建築物や壁画にも、今日の我々が青と表現する色彩が用いられている。そもそも人工的に顔料を合成してまで青を手に入れようとした古代地中海の人々がいることに注意したい。もちろん、天然の青も古くから存在していた。ラピスラズリと呼ばれる鉱物と、それを原料とする顔料である。紀元前7千年紀、今日のアフガニスタン<sup>⑥</sup>で採掘されていることが判明しており、この地域から、オリエント<sup>⑦</sup>や地中海世界へと運ばれ、取引されていた。エジプト第18王朝<sup>⑧</sup>のツタンカーメン王のマスクにも用いられている。恐らくきわめて希少で、かつ高価であったはずである。古代の人が青を軽視していたとは考えにくい。さて、パストゥロの議論に立ち返ると、古代世界で軽視されていた青は、中世に入ってもなお、長きにわたって重要な位置を占めることがなかったという。ヨーロッパ世界、あるいはキリスト教会にあっては白、黒、赤の三色が基軸となる色彩であり、重要な典礼でもこの三つの色が柱と

なっていた。ロタリオ＝デイ＝コンティ＝デイ＝セーニ(後のインノケンティウス<sup>⑨</sup>3世)が執筆した『祭壇玄義 *de sacro sancti altari mysterio*』が典礼を論じ、カトリック世界における典礼の統一化を後押しする際にも、青の出る幕はなかった。しかしこの枠組が11～13世紀に変化し、12世紀の終わりにはキリスト教会の中で青が大きな位置を占め始め、新しい価値観、世界観と結びついていったという。イエスの母、マリアと密接な関係を持つ色彩とされるようになり、近代に至っている。またフランス国王の紋章に用いられ、伝説に彩られたアーサー王が青い衣装をまとう様が描かれるようになる。染付となじみの深い我々には、そうした青の不遇、青の紆余曲折は、少し意外に思われるのではないだろうか。<sup>⑩</sup>

問 1 下線部①に関して、もっとも適切な記述を選び、その記号をマークしなさい。

- ① 地中海南岸のローマの支配圏よりも南に住む、遊牧民を念頭に置いた表現である。
- ② 地中海北岸のローマの支配圏内に存在する、反抗勢力を念頭に置いた表現である。
- ③ ドニエプル川の彼方に住む遊牧民を念頭に置いた表現である。
- ④ ライン川の彼方に住むゲルマン系の人々を念頭に置いた表現である。

問 2 下線部②に関して、もっとも適切な記述を選び、その記号をマークしなさい。

- ① 古代ギリシアの重装歩兵に欠かせない弓を飾る際に用いられていたようである。
- ② 古代ギリシアの重装歩兵に欠かせない盾を飾る際に用いられていたようである。
- ③ 古代ギリシアのファランクスを構成した騎兵が鞍の飾りに用いたようである。
- ④ 古代ギリシアのファランクスを構成した騎兵が<sup>あぶみ</sup>鐙の飾りに用いたようである。

問 3 下線部③に関して、もっとも適切な記述を選び、その記号をマークしなさい。

- ① ウェルギリウス『農耕詩』に出てくる表現である。
- ② ペトラルカ『ヴァントゥー山登攀』に出てくる表現である。
- ③ ホメロスの叙事詩に出てくる表現である。
- ④ ホメロス『歴史』に出てくる表現である。

問 4 空欄4に入る適切な語を選び、その記号をマークしなさい。

- ① ミノア
- ② ミケーネ
- ③ ケチュア
- ④ アステカ

問 5 下線部⑤に関して、もっとも適切な記述を選び、その記号をマークしなさい。

- ① 僭主ペイストラトスが建立し、奉献した、アテネの守護神を祀る神殿である。
- ② 民主政を創始したクレステネスが建立し、奉献した、民主政の守護神を祀る神殿である。
- ③ 政治家ペリクレスが主導し、彫刻家プラクシテレスが施行して竣工した神殿である。
- ④ 政治家ペリクレスが主導し、デロス同盟の資金を流用して完成したとされる神殿である。

問 6 下線部⑥に関して、もっとも適切な記述を選び、その記号をマークしなさい。

- ① 1989年にソ連軍が撤退し、冷戦が本格化するさなか、ムジャヒディーンとターリバーンの連立政権が発足したが、2001年同時多発テロ事件を引き起こしたアル＝カーイダの指導者ビン＝ラーディンをかくまったことにより、アメリカ軍の攻撃を受けた。
- ② 1989年にソ連軍が撤退後、カーブルのナジブラ政権が統治し、2001年に同時多発テロ事件を引き起こしたアル＝カーイダの指導者ビン＝ラーディンをかくまったことにより、アメリカ軍の攻撃を受けて政権は崩壊した。
- ③ 仏像で名高いガンダーラ地方のある国である。
- ④ バングラディシュとともに、インドから独立したパキスタンを構成していた国である。

問 7 下線部⑦に関して、もっとも適切な記述を選び、その記号をマークしなさい。

- ① アフガニスタンからみて西にあるため、「日の沈むところ」を意味するオリエントという名前で呼ばれている。
- ② 地中海世界からみて東にあるため、「日の昇るところ」を意味するオリエントという名前で呼ばれている。
- ③ ウルの空中庭園は世界の七不思議の一つとして名高い。
- ④ サルゴン王の定めたハンムラビ法典にある「目には目を，歯には歯を」は罪刑法定主義に基づく同害復讐法である。

問 8 下線部⑧に関して、もっとも適切な記述を選び、その記号をマークしなさい。

- ① 新王国時代の王朝で、最盛期にはクフ王が巨大なピラミッドを建設した。
- ② 古王国時代の王朝で、クレオパトラ女王の葬祭殿で名高い。
- ③ 中王国時代の王朝で、ラムセス 2 世がアスワンハイダムを建設させたことが有名である。
- ④ 新王国時代の王朝で、アメンホテプ 4 世(イクナートン)によるアマルナ改革が有名である。

問 9 下線部⑨に関して、もっとも適切な記述を選び、その記号をマークしなさい。

- ① 「教皇は月，皇帝は太陽」といわれる状況を作り出した教皇である。
- ② 第 4 回十字軍を派遣した教皇である。
- ③ 神聖ローマ皇帝フリードリヒ 2 世の後見として、その成長を見守り、ナポリ王，ドイツ王に即位する後押しをした。
- ④ カノッサの屈辱で憤死した教皇である。

問10 下線部⑩に関して、もっとも適切な記述を選び、その記号をマークしなさい。

- ① 明代に生産を始めた景德鎮の染付は名高く、わが国でも高く評価された。
- ② 元代の景德鎮では、イスラーム世界から輸入したコバルトを顔料として絵柄を描いた焼物が作られた。
- ③ イギリスのロイヤル＝コペンハーゲン陶磁器工場の焼物の源流となった。
- ④ 複数の釉薬<sup>うわぐすり</sup>を素地にかけて、低温で焼き固めた磁器であり、世界中に広く輸出されていた。



Ⅲ 次の文章を読んで、設問に答えなさい。解答は解答用紙Aにマークすること。

アメリカ大陸の農耕文化は前2千年紀に( 1 )などの栽培から始まった。メキシコ湾岸の( 2 )文明、ユカタン半島の( 3 )文明、メキシコ高原のテオティワカン文明、( 4 )文明、アンデス高原のチャビン文化などが展開した。  
⑧

問 1 空欄1に入る適切な語を選び、その記号をマークしなさい。

- ① サトウキビ
- ② コーヒー
- ③ トウモロコシ
- ④ 大豆

問 2 空欄2に入る適切な語を選び、その記号をマークしなさい。

- ① ナスカ
- ② アステカ
- ③ マヤ
- ④ オルメカ

問 3 空欄3に入る適切な語を選び、その記号をマークしなさい。

- ① ナスカ
- ② アステカ
- ③ マヤ
- ④ オルメカ

問 4 空欄4に入る適切な語を選び、その記号をマークしなさい。

- ① ナスカ
- ② アステカ
- ③ マヤ
- ④ オルメカ

問 5 ( 2 ) 文明, ( 4 ) 文明, チャビン文化を出現が古いものから新しいものへと並べたとき, 正しい順番を次から選び, その記号をマークしなさい。

- ① ( 4 ) 文明 → チャビン文化 → ( 2 ) 文明
- ② ( 4 ) 文明 → ( 2 ) 文明 → チャビン文化
- ③ チャビン文化 → ( 4 ) 文明 → ( 2 ) 文明
- ④ ( 2 ) 文明 → チャビン文化 → ( 4 ) 文明

問 6 ( 2 ) 文明, ( 3 ) 文明, ( 4 ) 文明, チャビン文化が展開した地域を西から東に並べたとき, 正しい配置を次から選び, その記号をマークしなさい。

- ① ( 4 ) 文明 → ( 3 ) 文明 → チャビン文化 → ( 2 ) 文明
- ② ( 4 ) 文明 → ( 2 ) 文明 → ( 3 ) 文明 → チャビン文化
- ③ ( 2 ) 文明 → チャビン文化 → ( 4 ) 文明 → ( 3 ) 文明
- ④ ( 2 ) 文明 → チャビン文化 → ( 3 ) 文明 → ( 4 ) 文明

問 7 空欄 3 に関して, もっとも適切な記述を選び, その記号をマークしなさい。

- ① ピラミッド状の建築物を建設した。
- ② 文字の代わりにキープを用いた。
- ③ 原始的な暦を発明して用いていた痕跡がある。
- ④ 16 世紀に最盛期を迎えた。

問 8 下線部⑧に関して, もっとも適切な記述を選び, その記号をマークしなさい。

- ① 孤立した文化であり, その滅亡後, アンデス山脈に興った文明はなかった。
- ② この文化の成立以後, アンデス山脈各地にさまざまな王国が成立した。
- ③ この文化は 3 世紀にアンデス山脈を包含する統一政権を樹立した。
- ④ この文化は独自のチャビン文字をもち, 多くの記録を残している。

問 9 下線部⑧の成立したアンデス山脈の広大な範囲を支配した王国について、もっとも適切な記述を選び、その記号をマークしなさい。

- ① 15世紀半ばには、テオティワカンを首都として、今日のコロンビア南部からチリに及ぶ広大なインカ帝国が成立した。
- ② 「タワンティンスウユ(四つの邦)」を国号とするインカ帝国は、クスコを都として、文字の代わりにキープを用い、高度な石造建築技術を有する社会を営んでいた。
- ③ コンキスタドールと呼ばれるイエズス会宣教師によって設置された、南米最初のキリスト教国家であった。
- ④ ウマや鉄砲を使用し、アンデス山脈を征服した後、インカ道と呼ばれる道路網を整備して、軍団の速やかな移動を可能とした。

問10 次の記述から、もっとも適切なものを選び、その記号をマークしなさい。

- ① ラテンアメリカに古くから住んでいた住民と、後にやってきた黒人との間に生まれた人々のことをメスティーソと呼び、彼らの話す言語のことをクリオーリョという。
- ② ラテンアメリカに古くから住んでいた住民と、後にやってきた白人との間に生まれた人々のことをメスティーソと呼ぶ。
- ③ アメリカ大陸に古くから住んでいた人々のことをクリオーリョという。
- ④ ヨーロッパ人は今のアメリカ大陸のことをインディアスと呼んでいたが、現地の人々がアメリカと呼んでいるのを知って、呼び方を改めた。

Ⅳ 次の文章を読み、空欄に適切な語句を入れなさい。解答は解答用紙Bに記入すること。

ヨーロッパの都市にはそれぞれ特徴ある建造物や広場や街路などがあり、歴史的な事件の舞台となってきた。

パリにはいくつもの有名な建物があるが、たとえばセーヌ川に浮かぶシテ島に建設されたゴシック様式の聖堂で、2019年に火災で一部が焼け落ちた( 1 )大聖堂、ルネサンス期から近代にかけて増築されてきたルーヴル宮殿、1889年に万国博覧会会場の中心的建造物として立てられた( 2 )塔などが特によく知られている。パリらしい街並みとして多くの人々が思い浮かべるのは、凱旋門から伸びる放射状の大通りにみられるような、建物の様式が統一された景観だろう。こうした街並みは、( 3 )3世の時代に県知事オスマンのもとで進められた都市整備によるものである。オスマン風の大通りのあいだには、18世紀末から19世紀前半にかけて発展したパッサージュとよばれる商店街があり、ガラス天井のアーケードの下に商店やカフェなどが集まっている。カフェは社交の場であると同時に、作家( 4 )の小説『レ・ミゼラブル』で描かれたように、政治的な運動がうまれる場所でもあった。

19世紀に作られた街並みが都市のイメージに強い影響をあたえているというのはロンドンも同じである。多くの観光客を集める名所となっている( 5 )広場は、1805年にイギリス海軍がスペイン沖でナポレオン軍を破った海戦を記念して造られた広場である。時計塔ビッグ・ベンで知られるウェストミンスター宮殿も19世紀の建物で、国会議事堂として用いられている。より古い歴史を伝える建物としては、国会議事堂の隣にあるウェストミンスター寺院も有名である。ここはロンドンを代表するゴシック様式の教会で、イギリス歴代の国王や政治家、詩人、科学者(たとえば、万有引力の法則を提唱した( 6 ))が埋葬されている。現在では繁華街となっているコヴェント・ガーデンにも長い歴史がある。ここはもともと修道院の所有地であったが、宗教改革の時代に国王( 7 )8世が修道院を解散させたことが発端となって人々に開放され、商業地区となった。

バロック様式の建物で有名な都市といえば、18世紀初頭にロシア皇帝( 8 )1

世によって「西洋への窓」として建設されたペテルブルクがある。現在はエルミタージュ美術館を構成する建物となっている冬宮殿は、ドイツ生まれの女帝( 9 )2世の時代に王宮としてもちいられ、1917年の( 10 )月革命ではボリシェヴィキが臨時政府を排除するためにこの建物を制圧した。ペテルブルクにもパッサージュ百貨店という施設があり、パリやロンドンと並ぶ長い歴史をもつアーケード付きショッピングセンターとして知られている。